



青鵠課題研究成果発表会！

理数科2年生が取り組んでいる青鵠課題研究(水曜日5~7時間目)では、同じ学部・学科(数学・情報, 物理, 化学, 機械, 電気・電子, 都市工学, 農学, 医療系)を志望する仲間と研究チームを組み, その学部・学科で学ぶ内容に沿った研究活動を行いました。1年間の努力の成果を披露するため, 3月3日(金)に成果発表会を行いました。当日は多くの大学の先生方や保護者様, 高校1年生や中学3年生の後輩達の前で, 1年間の長きにわたり取り組んだ研究の成果を堂々と披露してくれました。参観された大学の先生方からも「これまで以上にレベルが上がってきていて, プレゼンテーションもわかりやすかった」とお褒めの言葉をいただきました。ここで研究したこと, 幅広く学んできた成果を大学入試(学校推薦型選抜, 総合型選抜)や, 大学入学後の学びに活かしてくれることを大いに期待しています!

各分野で最優秀賞に選ばれたのは次のみなさんです。おめでとうございます!

【数学・情報分野】

『顔認証による自動鍵開閉システムの開発』

山崎匠吾さん, 若林剛さん, 井上幹太さん, 福島吏貴さん

【物理分野／電気・電子分野】

『水飛沫』

桶田翔輝さん, 後藤練さん, 森山魁星さん

【機械分野／都市工学分野】

『安全性と実用性を兼ねそろえた避難所』

林佳汰さん, 益田葵さん, 山崎崇史さん, 納富匠吾さん

【化学分野／農学分野】

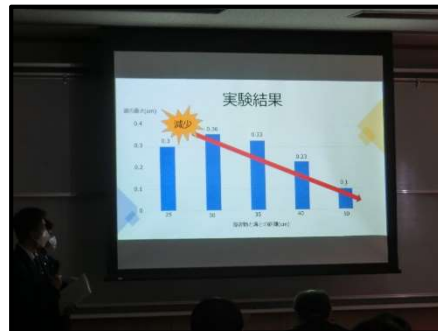
『自然と資源を守る生分解性プラスチック』

古川采樹さん, 三宅彩加さん, 安藤耕平さん, 西村愛菜さん, 森光凜さん

【医療分野】

『酸化チタン光触媒スプレーと70%エタノールの除菌力を徹底比較』

伊東未紗希さん, 吉岡栞那さん, 樋口凜さん



令和4年度青鵠課題研究成果発表会
(2023年3月3日(金))

一般社団法人情報処理学会 第85回全国大会参加報告!

青鵲課題研究「数学・情報分野」で研究した河添俊太郎さん、塩見文梨さん、竹下惇朗さんの3名が、電気通信大学(東京)で行われました表記の大会で研究成果を発表してくれました。一般の情報系の大学生、大学院生に交じって高校生が学会発表するのは、それだけでもすごいこと、まさにSSHならではの取り組みです! さらにすごいことに、高校生にもかかわらず「**学生奨励賞**」まで受賞してきてくれました。おめでとうございます! 三人の感想を通して、その興奮をお届けできればと思います。

当日の会場では「第5回中高生情報学研究コンテスト」も実施されており、数学・情報コースの他の研究チームのみなさんもポスターを出品してくれました。これもなによりの努力の成果で、自信になるね!



情報処理学会第85回全国大会
(2023年3月2~3日/電気通信大学)

- 私たちの研究は少し専門性が高い内容で、中間報告会の際みんなにこの研究の良さがなかなか伝わらず、悔しく感じていました。また、この分野に詳しい先生が少なかったため、ほんとうにこれでいいのかと悩みながら研究をする不安な日々でした。そんななか幸運にも得ることができた学会発表の機会を無駄にはしまいと全力を尽くして迎えた当日、**偶然私たちが参考文献として使わせていただいた研究を行った先生に発表を聴いていただけました。**まさか私たちが何回も読み込んだ論文を書いた先生と出会えるとは思っていませんでした。さらに嬉しいことにお褒めの言葉や共同研究のお誘いまでいただきました。**私たちのやってきたことは間違っていないと自信にもつながりました。**全国大会の舞台に出れば、たくさんのスペシャリストと出会うことができます。この経験はかけがえないものだと私は思います。
- 学会に行かせていただいて多くの良い経験ができましたが、その中で最も強く感じたのは、**本物の学会の雰囲気を感じ、学会で発表されている研究の深さを知ることができたこと**だと思います。その分野専門の先生のもとでその分野をしっかりと学んできた大学生や大学院生の集大成ともいえる学会発表の場はとても緊張感があって、高校生の自分たちが来てよかったのかと圧倒されるほどでした。そんな中で発表し、鋭い質問が来るかもしれないとそわそわしていましたが、自分なりの精一杯を出すことができてよかったです。**セッション内で賞をいただけたことは本当にうれしく、他の発表会のモチベーションと自信になりました。**
- 今回、代表として情報処理学会に行かせていただきました。この研究はどこに正解があって、何が正しいかわからないなかで研究していました。自分にとってどれも難しく、初めてのものばかりだったので、それらのことを他の二人に教えてもらったり、引っ張ってもらっていました。実際に学会では、全く知らないことや考えもしなかったような視点での研究を見てきました。私自身の興味のある研究もあり、とても楽しく聞くことができました。**研究が始まってから学会が終わるまでたくさんのものを経験し、良い機会になったと思います。**